



90

大平バス停パーク



DATA・BOARD 90

- ①沖縄県浦添市大平地内
- ②延長：460m，幅員：25.8m
- ③ポケットパーク，鉄道線路と軍用地境界杭の復元オブジェ，説明板，花壇，ベンチ，シェルターほか
- ④カラー平板ブロックほか



浦添市のパイプライン通りは、かつて米軍のジェット燃料輸送管が埋設されていたため名づけられた名称で、戦前は軽便鉄道が走っていた場所でもある。そのため、市では、こうした歴史的事実を修景に取り入れた小公園をもった「大平バス停パーク」の整備を行った。

整備については、道路工事によって出土した軽便鉄道のレールを利用した鉄道線路と、軍用地を示す当時の境界杭を復元し、説明を加えて歴史への配慮を行った。

また、停留所のシェルターは市の花であるオオバナアリアケカズラをモチーフにデザインし、街並みにアクセントを与えるとともに、スツールやベンチなどを配して、花と緑に包まれたうるおいのある都市空間を演出している。

● 出会いを演出する街角